


言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (尾道市立栗原中学校)

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 自分を見つける「少年の日の思い出」
- ④ 本時の目標 これまでに読み取った内容をもとにポップを作ることとおして、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。
- ⑤ 学習の流れ (9時間目/全9時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)	
1 本時のねらいを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回考えた新しい題名をタイトルにしたポップを作ることを確認する。 ・書店の店員になったつもりで、客に手にとってもらえるようなポップになるよう工夫をさせる。 		
書店員になったつもりで、「少年の日の思い出」のポップを作ろう。			
2 良いポップとはどのようなものか、見本をみながら確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・書店から実際に借りてきたポップのコピーを配布し、配色や図柄の参考にさせる。 ・必ず入れる言葉の確認をする。 (ポップ右下「少年の日の思い出」ヘルマン・ヘッセ) 		
3 前時に考えた新しい題名をタイトルにして、ポップ作りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○タイトルに合った絵や色使いを考える。 ○そのタイトルにした理由を含んだ説明文を添える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が考えたタイトルに合った色使いにしたり、絵の工夫をさせたりする。 【生徒作品例 (予定)】 ・そのタイトルにふさわしい説明文を添えさせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>僕の罪と蝶</p> <p>蝶の収集に熱中した少年時代。</p> <p>僕の「罪」とは。</p> <p style="text-align: center;">「少年の日の思い出」ヘルマン・ヘッセ</p>  </div>	
4 ペアや班で交流をし、相互評価をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○自分の作品の工夫した点やそのタイトルにした理由などを説明する。 ○相互評価をすることで、「少年の日の思い出」のキーワードを再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各作品のタイトルが「少年の日の思い出」の内容に合っている言葉かどうか、「読みたい」と思わせるタイトルになっているかどうかを考えさせる。 ・相互評価シートを活用して、物語の内容に合った作品になっているかを判断させる。 		
5 本時の学習を振り返り、まとめをする。			<ul style="list-style-type: none"> ・「少年の日の思い出」の内容を踏まえた作品になっているかどうかを、根拠を挙げて判断している。〔読む能力〕(相互評価シート)
6 次時の学習を知る。			

言語活動の充実

設定した言語活動を通して育てたい力

- 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 物語のキーワードを意識させる。
- 書店のポップを作る活動を通して、「相手に分かりやすく伝える」という目的意識をもたせる。